

別冊 ファイナリストはいま

株式会社日本政策投資銀行

As we move toward privatization, DBJ aspires to live up to the objectives of its corporate philosophy: "Applying financial expertise to design the future." In our view, creative financing is the key to solving problems, building the trust of our clients and achieving future prosperity. Our corporate philosophy addresses this resolve. Following on from this corporate philosophy, we have coined the "core competencies" to express DBJ-specific characteristics. The first "core competency," for "intention," expresses our ongoing dedication to a long-term perspective, neutrality, public-mindedness and reliability. The second "core competency" is for "Intellectual Assets," the experience and know-how we have

developed to date, our forward-thinking capacity and judiciousness, and our involvement in financial technologies. The third "core competency," for "networks," indicates the relationships of trust that we have with our customers, regional government bodies, cooperating companies and financial institutions. Each of our executives and regular employees will apply these "core competencies" in concert to deliver our issue-resolution capabilities and financial expertise to our customers. As in the past, rather than concentrating solely on short-term profit we remain dedicated to helping our customers shape the future through our long-term and neutral perspective.

As in the past, rather than concentrating solely on short-term profit we remain dedicated to helping our customers shape the future through our long-term and neutral perspective. Through privatization, we aim to establish ourselves with the business model of a highly specialized financial institution that provides integrated investment and loan services. In the past, DBJ's operations have centered on long-term senior loans. To meet a more diverse range of customer needs, in recent years we have begun applying our expertise in screening long-term projects and increasing our percentage involvement in structured financing and fund investment. After privatization, we will enhance our investment and financing functions, providing a wide range of services that contain facets of both. In addition to providing M&A advisory services, consulting and other information services, we intend to mold ourselves into a financial institution that is unique both in Japan and overseas for conducting integrated investment and loan activities. Our primary aim is to be the financial institution of choice for our customers, as well as one they find useful. To achieve this standing, we will redouble our efforts to address thoroughly the broad range of issues our clients face. We want our customers to be pleased that we have privatized. Accordingly, each of the Bank's executives and regular employees is taking upon themselves the challenge of transforming DBJ. I ask for the continued support of our stakeholders as we move along this new path. Leveraging its greater degree of freedom to conduct leading-edge financial activities, DBJ will endeavor to resolve the issues its clients face, build their trust and work to achieve their future prosperity. The new DBJ corporate philosophy is "Applying financial expertise to design the future." The word "design" is deliberate, evincing our willingness to work in tandem with clients to help them reach their goals. DBJ is taking

The new DBJ corporate philosophy is "Applying financial expertise to design the future." The word "design" is deliberate, evincing our willingness to work in tandem with clients to help them reach their goals. DBJ is taking privatization as an opportunity to inculcate in its executives and regular employees an even more thorough "customers first" orientation. We will work assiduously to make the most of our newfound freedom to apply leading-edge initiatives to the resolution of client issues. Throughout its history, DBJ has played a variety of roles to meet the needs of the times. Making the most of our expertise and abilities, we provide financing services that suit changing social and economic conditions. In the interest of creating prosperous lifestyles, we take a long-term perspective in providing appropriate solutions to the challenges communities face, such as stimulating regional economies, building local infrastructure and building wide-ranging networks. DBJ takes a multifaceted approach to resolving corporate issues. We aim to help clients become more competitive, grow further, expand their operational bases, strengthen and stabilize their financial bases and raise brand value, supporting social sustainability.



The DBJ Women Entrepreneurs Center
DBJ 女性起業サポートセンター

DBJ女性新ビジネスプランコンペティションでは、受賞者に対し事業奨励金の支給と一年間のメンタリングを行っています。メンタリングでは、受賞者と経営課題を共有し、その課題解決にふさわしい外部専門家を選定した上で、両者が共同して受賞者の事業発展に必要なアドバイスを実施しています。

また、受賞者のみならず、ファイナリストに対してもビジネスマッチングのための企業紹介、メディアへの紹介など、さまざまな支援を行っています。

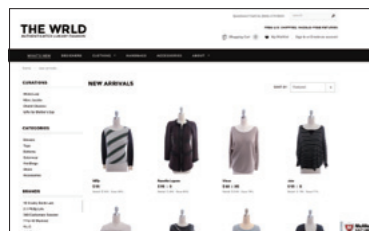
このように、DBJでは、外部専門家やネットワークを活かし、受賞者を含むファイナリストの事業発展を多面的にサポートしています。

今般、その成果をご報告するため、第1回～第3回のファイナリストの活躍をまとめました。スペースの都合上、一部の方のご紹介となりますが、DBJは今後もファイナリストの活躍を応援してまいります。

	賞名	名前	所属	事業名	都道府県
第1回	大賞	加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ	持続可能な農業を目指して、畑から食卓まで、おいしいと安心を人とITで効率的につなぐベジプロバイダー@事業	静岡県
	優秀賞	牛来 千鶴	株式会社ソアラサービス	起業家やクリエイターのための共同オフィス・モノづくり・子育てのビジネス拠点～あったらいいなをカタチにする～ [SO@R ビジネスポート]	広島県
	震災復興賞	及川 秀子	有限会社オйкаワデニム	気仙沼発 地域資源有効活用の最大化 地域資源を生かした新ファッションブランドの創設	宮城県
	未来にチャレンジ賞	米良 はるか	オーマ株式会社	"実行者"を支援する日本初のクラウドファンディング クリエイティブな活動、社会性の高い活動、夢の実現を支援してもらうためのプラットフォーム事業	東京都
	震災復興特別賞	鹿島 美織	株式会社アネモア	みんなでシェアしよう。 ぐるぐるバス、わいわい仕事...場と時間をシェアする仕組みとは?	宮城県
	日経特別賞	小林 リン	公益財団法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団	アジア太平洋地域のために、新たなフロンティアを創り出し変革を起こせるリーダーを育てる。 日本初!全寮制インターナショナルハイスクール	東京都
	ファイナリスト	浅田 麻衣子	レパトロン株式会社	～未来を変えるビデオ・エンコーダ～ 高解像度、低コスト、低電力消費の実現	東京都
	ファイナリスト	西浦 明子	野先株式会社	"もったいない"スペースをシェアする 日本初の遊休スペース流通市場の創造	東京都
	ファイナリスト	宇井 吉美	株式会社 aba	未来の介護をデザインする尿検知シート[Lifilm]	千葉県
ファイナリスト	光岡 真里	株式会社サムライト	携帯型タブレット端末を活用した介護予防教室 みつおか式「脳若トレーニング法」事業展開	福岡県	
第2回	大賞	吉本 桂子	ロイヤルブルーティー ジャパン株式会社	自社一貫開発製造による高級ボトリング日本茶を世界に発信!	神奈川県
	優秀賞	日野 美貴	株式会社 西日本冷食	内陸型水産業による地域イノベーションの構築 ～養殖は天然を超えても良いものか～	福岡県
	特別賞 [High-Spirits 賞]	鮫島 弘子	株式会社 andu amet	世界最高峰のエチオピアシースキンを贅沢に使用した エシカル×リユクスなレザーブランド	東京都
	ファイナリスト	石川 佳寿子	株式会社ピコサム	熱を制する者がデバイス開発を制する ～薄膜熱物性測定装置[NanoTR][PicoTR]の開発製造・販売と受託分析	茨城県
	ファイナリスト	片桐 実央	銀座セカンドライフ株式会社	定年前後の企業を支援! 「シニア起業家」のビジネスプランづくり、 共同オフィス運営、起業家交流会mまで、夢の実現をお手伝い	東京都
ファイナリスト	菅原 俊子	株式会社 ハート・オーガナイゼーション	医師の集積地を知り、医療の質を高める、 医師のための症例議論プラットフォーム e-casebook.com@	愛知県	
ファイナリスト	池 成姫	株式会社 COAROO	付替え無しの一本のベルトで実現可能な次世代ショルダー 「コアルーパーグ」のブランド化	東京都	
第3回	大賞	矢野 莉恵	Material Wrld.Inc	ファッション業界と直接組み、ラグジュアリーファッションを百貨店や ブランドのギフトカードで買い取り、新規購入を促す業界初の トレードイン事業	ニューヨーク 州
	優秀賞	田中 美和	株式会社 Waris	ハイスキルマザーの力を活用した業務アウトソーシングサービス事業	東京都
	震災復興賞	引地 恵	一般社団法人 WATALIS	中古着物地によるリメイク雑貨製造販売事業 ～感謝を包む手仕事でグローバルブランドを創る～	宮城県
	震災復興賞	御手洗 端子	株式会社 気仙沼ニッティング	気仙沼を拠点とし、ハイエンドな手編みのセーター・カーディガンの 企画・製造・販売を行う事業	宮城県
	特別賞 [地域イノベーション賞]	酒井 里奈	株式会社ファームステーション	独自の発酵技術を活用した米エタノールビジネス ～バイオマス、未利用資源を活用して高付加価値プロダクツを生み出す～	岩手県
	ファイナリスト	古川 ひろ美	有限会社 BOND	キャラクター動画が、あつという間に作成できるソフトウェア [Smart Avatar@]の開発・販売	福岡県
	ファイナリスト	橋本 昌子	株式会社スパテル	医療・介護・教育のコラボレーションで高齢化が自分らしく人生を 終えるための支援	石川県
	ファイナリスト	吉田 理恵	株式会社ハッピーリス	～ハッピーな食事介助を目指して～「ごっくんチェッカー」の事業展開	東京都
ファイナリスト	太刀山 美樹	株式会社 MIKI・ファニット	～未来と今を担う人材育成～ 挑戦できる子どもと親を育てる放課後アドバンススクール「テミル™」の展開	福岡県	

大賞

ファッション業界と直接組み、新規購入を促す業界初のトレードイン事業を展開



高級中古衣料・靴・バッグを買い取るトレードイン事業をニューヨークベースで全米展開しています。ブランドや百貨店と組み、現金ではなくギフトカードで中古商品を買取ることにより新規購入を促す、業界初の試みです。

事業奨励金と資金調達により、組織強化のための人材投入並びに独自 E コマースサイト立ち上げに加え、ギフトカード事業から自社の金融商品事業への移行の準備が可能となりました。メンタリングでは、大手リテイラーやブランドにネットワークを持つ人物の紹介や、E コマースオペレーションの最適化、消費

ニューヨーク州

Material Wrld, Inc. 代表取締役

者向けブランディング、資金調達等についてアドバイスを受け、日ケトラリアンドエラーでビジネスモデルをブラッシュアップしつつ、金融商品化や百貨店の集客に貢献するなどの新しい取り組みも加え、アメリカ国内における大手リテイラーとの実績作りを行っています。

アメリカ国内の主要都市での更なる実績に加え、日本市場での事業展開に向けた基盤構築のための物流、システム事業者、アパレル、百貨店とのネットワーク作りなど多くの課題を解決しながら進めています。

矢野 莉恵

震災復興賞

中古着物地のアップサイクルと伝統文化の融合 手づくりのグローバルブランド



中古着物地によるリメイク雑貨商品の企画・製造・販売。箆笥に眠る着物地を地域の女性達の手で加工し、価値を高めて再び市場に投入する「アップサイクル文化」を醸成し、繊維のリサイクル率向上を図っています。

受賞により、社会的信頼度が大きく高まり、アイリスオーヤマ株式会社とのコラボレーション商品の発売や高級旅館「ホテル佐勘」での常設販売にも繋がりました。DBJ からの温かい応援が励みになり、精神的にも支えられた

1年でした。メンタリングでは、ミッションの見直しや戦略構築、知財関係の指導を頂きました。おかげさまで、2015年5月15日に株式会社 WATALIS を設立。事業奨励金は、会社設立や商標登録、販売事業における在庫・販売・売上管理システムの導入、実店舗の移転など、企業としての基盤整備に活用しています。

今後は、女性ファッション誌での通販にもチャレンジするなど、ブランド価値を高める取り組みを行っていきます。

宮城県

一般社団法人WATALIS 代表理事

引地 恵

優秀賞

ハイスキルマザーの力を活用した業務アウトソーシングサービス事業を展開



ハイスキルなワーキングマザーと企業とのジョブマッチングを行っています。総合職として10年以上の経験を持つキャリア女性に対し、時間や場所にとらわれにくく経験を活かせるフレキシブルなお仕事をご紹介します。

優秀賞を受賞したことで、テレビ・新聞等でご取材いただけたことは、会社としての知名度アップにつながりました。また、事業奨励金を使って営業体制も強化いたしました。

メンタリングにおける収穫は、メンターの方から本質的なアドバイスを多数いただけたことです。特に「ベンチャーは選択と集中が何より大切」とい

東京都

株式会社Waris 代表取締役

う言葉は、私たちボードメンバーの胸に強く響きました。自分たちが勝てるフィールドでまずは徹底的に結果を出すことを大切にしたいと決意を新たにしました。加えてシステム化のタイミングと方法論についても貴重なアドバイスをいただき、外部のプロフェッショナルの力を賢く活用しながら進めています。

ミッションとして掲げる「誰もが自分を活かして働き続けられる社会の実現」を目指し、まずは今年中に導入予定の独自システムにより、マッチングスピードとマッチング率の改善を実現します。また、地方でのサービス展開にも挑戦していきます。

田中 美和

震災復興賞

気仙沼を拠点にハイエンドな手編み製品を企画・製造・販売



私たちは、宮城県気仙沼市を拠点に手編みのセーター等の企画・製造・販売を行う会社です。遠洋漁業の港町である気仙沼では、漁師のセーターを編む習慣があったため「編む」という行為が身近でした。「一生もの」として着られるニットを編み、お届けすることで、働く人が「誇り」を持てる仕事をつくり、継続的に地域に利益を還元していくことを目的としています。将来的には世界に尊敬される「未来の老舗」になることを目指しています。

事業奨励金は、気仙沼における実店舗の改築・英語版ウェブサイトの構築・ショートムービーの作成に充当しました。

特にインターネット販売が中心であった弊社にとって、実店舗を持ったことの意味は大きく、顧客が編み手に会える機会が増え、より深い世界観をつくることのできるようになりました。また、メンタリングを通して大手百貨店など重要なネットワークをご紹介いただき、オーダー会の開催等につながりました。

100年後も200年後もお客さんと働く人の双方を幸せにし続けられる「老舗」となることを目指しており、今はその基礎づくりの段階にあります。そのために、常にいい商品を生み出せるよう、編み手・マネジメントともに体制強化に注力しています。

宮城県

株式会社気仙沼ニットイング 代表取締役

御手洗 瑞子

国内最大級のクラウドファンディングサービスを運営



日本初にして国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」は、共感をテーマに、社会をよくするクリエイティブな活動や新しいことに挑戦する人々を応援するプラットフォーム。

応募時(第1回)には、企業内プロジェクトとしてサービスを運営していたが、2年後の2014年7月に独立。READYFOR株式会社を設立し、代表取締役役に就任。現在は、累計で約2400件のプロジェクトの資金調達を行い、合計で10万人から

第1回 「未来にチャレンジ賞」受賞
READYFOR 株式会社 代表取締役

約14億円の支援を得て、数千万円の資金調達をできる案件も出てきた。

サービス責任者の時は、事業を成長させることが最も大事だと考えていたが、今は、成長し続けるために、ビジョンを持ち、従業員が成長し、社会に貢献し続ける会社となる、適切な環境づくりが最も大事なことだと感じている。

世界中の人々がチャレンジできる社会をつくるため、インパクトを与える会社を目指す。

めら
米良 はるか

認知症予防トレーニングを全国に販売

ITと人を活用した地域密着型の認知症予防トレーニング「みつおか式脳若®トレーニング法」を全国にライセンス販売している。応募時(第1回)には、「みつおか式脳若®トレーニング法」の効果についてのエビデンス取得が課題となったが、同年、株式会社シティアスコムより出資を得て、事業のスピードは増していった。

そして、2013年には福岡県粕屋町の協力の下、「エビデンス取得プロジェクト」を実施、2014年10月に第9回日本応用老

年学会にて発表。また2014年5月にはあらゆるコミュニティスペースで行うパッケージ「脳若ステーション」を発表、サービスを見える形にして全教材をクラウド化、全国へライセンス販売を開始した。

1年間で27都道府県にライセンス先が広がり、多種多様な事業者が契約。認定制度も確立し140名のコミュニケーター、トレーナーを認定。全国に脳若ステーションを500カ所作り1,000人の雇用を生み出すというVision500に挑戦する。



第1回 ファイナリスト
株式会社サムライト 代表取締役

みつおか まり
光岡 眞里

ハイクオリティ製品の安定提供を実現



「世界一の皮革を使って、現地の職人と一緒に本当によいものを作りたい」という思いから設立された、リュクス×エシカルなレザーブランド。2010年よりエチオピアに拠点を置き、現地職人たちへの技術指導を続けながら、ハンドメイドでハイクオリティの製品を日本に届ける。

口コミの拡大やメディア効果により受注が増えながらも、生産が間に合わず、

第2回 特別賞「High-Spirits賞」受賞
株式会社 andu amet 代表取締役

予約待ちの状況が続いていたが、15年4月、エチオピアで日系企業3社目となる現地法人を設立したことで、細部にわたる製品管理が可能となり、さらにエシカルで高品質な製品を安定的に提供していくことができるようになった。

受賞した「High-Spirits賞」の名に恥じない、高い志をもって前進を続けている。

さめじま ひろこ
鮫島 弘子

新ジャンル「コアルー」確立目指す

日本の「たすき」や「おんぶ紐」をヒントに特許を取得した「コアルーバッグ」と「コアルーベルト」を提供している。ユニバーサルデザインのコアルーは、一つのバッグで、ショルダーからリュック、前抱えまで、類稀な利便性を誇るベルト構造を持つ。

第2回コンペティションで受賞を逃した悔しさをばねにビジネスモデルを再考し、現在はコアルーの特許を元に他社とのコ

イアリティ契約を進めながら、大手百貨店や企画会社との連携商品や、学校の指定バッグなど新商品を開発し、大きく前進した。また、独自の構造を産学連携でより広い範囲に応用する研究を行い、救急搬送やペットの介護、育児用品など、多分野での事業展開を進めている。今後も「コアルー」という新ジャンルの確立を目指す。



第2回 ファイナリスト
株式会社 COAROO 代表取締役

ちー そん ひー
池 成姫

動画によるコミュニケーションを万人に開放



新潟市 SmartAvatar
「花野古町」【笹田五郎】
※番組制作ツール利用による生成例

ネットTVによる番組配信
※番組制作ツール+ネットTV
配信使用例

言語から人の感情を類型化するデータベースを開発し、テキストや音声が入力されると、キャラクター(スマートアバター®)が自動で表情や仕草をつけながら発話する(人工知能)動画作成・音声通話・配信システムを開発した。誰でも、スマートアバター®がキャスター役を務める動画をパソコンやスマートフォンなどモバイル端末を利用し、簡単に・早く・何度でも作成でき、複数端末に同時配信できる。多言

語対応をはじめ、SNS、デジタルサイネージ、MOOC(大規模公開オンライン講座)、AR技術との連携など、多様なコミュニケーションシーンに採用されている。

今年、東アジア文化都市2015新潟市実行委員会が広報ツールとして導入(公的機関初採用)。今後、オリンピック・パラリンピック東京大会のおもてなしのスマートアバター®として世界中に愛されるツールに成長させていく。

第3回 ファイナリスト
有限会社 BOND 代表取締役

ふる かわ み
古川 ひろ美

技術を武器に多角的な事業展開を目指す

「電気を使わずに周波数、音圧、音の位置を変える技術」をもとに「ごっくんチェッカー」を開発した。食べ物を飲み込んだ音をスピーカーやイヤホンで聞くことができる装置で、誤嚥防止などに役立つ。介護、医療関係施設からの受注が数千個に及び、一括納入が追いつかない状況だが、各社と連携を進めながら生産体制の安定化に努めている。

昨年のコンペティション表彰後、多数のメディアに取り上げられ、各方面から反響があった。「ごっくんチェッカー」のみならず、同社の集音技術が注目されている。例えば、食品生産工程での異物混入検査、プラントの状態監視を手掛けており、さらにトンネル、鉄道、橋梁の打音検査等での活用も見込まれる。技術を武器に、海外展開も視野に入れたさらなる事業領域の多角化を目指す。



第3回 ファイナリスト
株式会社ハッピーリス 代表取締役

よしだ りえ
吉田 理恵